

鵜沼宿の家(U家) 主屋等改修

2007 年 5 月～2007 年 12 月

設計：株式会社 建築計画研究所

施工：スズキ木舎（加茂郡白川町）

はじめに



主屋全景
旧中山道より



蔵・離れ全景
南側より

このU家は、旧中山道鵜沼宿の坂井家・梅田家・安田家に並んで建つ位置にあり、近くには、二ノ宮神社、脇本陣跡がある。屋敷内には北側街道沿いに主屋、南側市道沿いに蔵・離れ・門等がある。主屋、蔵・離れ、門は、旧宿場町の景観を形成する重要な建物として、国の登録有形文化財、市の景観重要建造物に指定されている。今回、平成 7 年に改修された箇所は補足改修と当時の未改修部分を中心に改修することになった。耐震補強の面からの改修が検討されたが、内部の改修は、基本的に実施せず、一部の不良箇所の補修のみを行うこととなった。前回の改修で屋根の日本瓦は、空葺きに改修されており、中庭には当時設置された倒れ止の鉄骨材がみえる。また、平成 11 年に玄関廻りの改修と台所・食堂廻りの内部改修が行われ、中庭東側に別棟を増築するなど改修がなされている。

目 次

- 建物概要
- 改修前の問題点
- 現況写真
- 主屋改修
- 蔵・離れ改修
- 改修工事写真
- 完成写真
- 配置図
- 実施設計図書（抜粋）
- 建物概要
 - 建物名称 U家主屋、蔵・離れ
 - 建物場所 岐阜県各務原市鵜沼西町地内
 - 建物用途 個人住宅
 - 築年数等 主屋：明治元年頃竣工 築約 140 年
平成 7 年屋根瓦を土葺きから空葺きへ改修（母屋・垂木共取替）
平成 11 年内部改修（土間部分に食堂・台所を増築）
蔵・離れ：明治 25 年頃竣工 築約 110 年
蔵部分が先に建てられ離れが後に増築された
平成 7 年 2 階屋根瓦を土葺きから空葺きへ改修
 - 建物規模
 - 主屋 床面積 1 階 120.6 m² 2 階 49.2 m²
延床面積 169.8 m² 建築面積 169.8 m²
階数 2 階建
軒高 約 4.6m 最高の高さ 約 7.15m
 - 蔵・離れ 床面積 1 階 74.8 m² 2 階 70.1 m²
延床面積 164.9 m² 建築面積 110.5 m²
1 階に両開き門 潜戸付を設置
軒高 約 5.0m 最高の高さ 約 7.1m

○ 仕上概要

主屋	屋根	：	日本瓦葺き（引掛棧葺）
	外壁	：	土壁漆喰塗仕上 一部下見板張 西妻壁土塗下見板張及び腰ガルバリウム鋼板張
	内壁	：	漆喰塗壁及せんい塗壁 ボード下地クロス貼
	床	：	畳敷き及び板張 一部土間洗出し床
	天井	：	根太天井及び竿縁天井 化粧ボード、クロス貼
蔵・離れ	屋根	：	日本瓦葺き（引掛棧葺）
	外壁	：	ガルバリウム鋼板張 一部漆喰塗＋板張
	内壁	：	漆喰塗及びせんい壁
	床	：	畳敷き及び板張 一部土間コンクリート
	天井	：	竿縁天井 折上げ天井 一部根太天井

□ 改修前の問題点

○ 主屋外部廻り

旧中仙道街道沿いの北面の壁は平成 10 年の改修時に木部はプリント鋼板、壁漆喰塗部は黒のカラートタンにて補修がしてあり、トタン張では少々違和感が残る。
西妻面の下部下見板張に傷みが見られ、下地の土塗が落下している箇所が見られる。
この部分は隣地建物とのあきがなく、通風が確保されていない。

○ 主屋内部廻り

玄関土間のコンクリートにひび割れがある。
中央柱間に嵌まる建具の動きが悪い為、この柱の脚元の状態を点検しズレの可能性があるか確認する必要がある。

○ 蔵・離れ外部廻り

蔵外壁のカラートタンの張替時期にきている。離れの平屋部分の屋根は平成 11 年の改修時にも葺替えを実施しておらず、特に蔵との接続部分では、漏水がある。
この接続部には、風雨を避ける為に応急的な壁・庇が取付けられており見栄えが悪い。
エアコンの室外機やパラポラアンテナ・LP ガスボンベも景観上好ましくないと思われる。

○ 蔵・離れ内部廻り

2 階の和室でタタミ床が沈む箇所が数箇所ある。

□ 現況写真



主屋：北側よりの全景
道路は旧中仙道



主屋西側の
下見板壁



東側の鉄格子



西側の木製糸屋格子



蔵・離れ：南西側よりの全景



主屋 2 階から中庭越しに
蔵・離れをみる



離れの南面



蔵横の門(潜り戸付)



離れ東面 (蔵本体との接続部)



離れ屋根と蔵本体との接続部

□ 主屋外部改修

街道沿いの壁と木部を覆っていたトタンを全て撤去し、本来の仕上げを復元した。トタン材撤去した後の木部や漆喰壁の損傷はあまり見られなかったが、既設仕上げの出調整と建設当時の仕上げの保護・若干の耐震補強を兼ねて、付梁・付柱を施しその中に黒漆喰塗壁を新設した。出窓部分の壁は、既設ボードの上に桧羽目板を張り鉄格子は、塗装のみを施した。西面壁の下見板は、傷みの激しい腰部のみ撤去し下見板風の鋼板張を施した。また、一部折れ釘の破損箇所の修理とその受け材の取替をした。

H7年頃の改修で屋根瓦の葺き替えや野地板・垂木・母屋材は改修済みであり、今回は、軒樋や豎樋などをやり替えた。また、電気メーター・電話引込み線など景観上好ましくない設備を西面カドに移設した。玄関内部のクラックの入った土間コンは撤去し、割れ止めのメッシュ筋を挿入した後、洗い出し床を新設した。

□ 蔵・離れ外部改修

離れの平屋部分の日本瓦土葺き屋根を空葺きに葺き替えした。鬼瓦など再利用できる役瓦などはそのまま利用した。葺き替えに伴い垂木材は不良箇所の調整をし、野地板は損傷が激しく杉板を新設した。蔵の壁と離れ屋根の取り合い部は、水切り金物など既設部不具合を考慮し念入りにやり替えた。離れ東面壁は、既設波トタンを撤去し付柱・付土台を取付し漆喰塗壁を復元した。蔵部分の外壁は、腰部既設トタン張を撤去し下見板風の鋼板張に張替し、その上部の壁は漆喰塗を復元した。2階の軒先廻りは当初金属の胴葺きの予定であったが、垂木を延長させ瓦の足し葺きが可能ということで瓦葺きとした。軒裏・鼻隠しは改修前と同様に鋼板張を新設した。軒樋・豎樋はすべてやり替えとし、既設でオーバーフローしていた箇所には落とし口を増やすなどして対処した。その他エアコン室外機は木格子で覆い、パラボラアンテナ・LPGボンベは別箇所に移設させた。

□ 改修工事写真



主屋 北面既設壁の様子（損傷はほとんど無い）



主屋 西カドの壁は硝子戸が現れた



主屋 2階壁の様子
(壁損傷は少ない)



主屋 付柱付梁を取付



主屋 玄関脇の壁



主屋 2階壁木工事完了



主屋 2階格子等木部塗装後の様



主屋 西面鋼板下地



主屋 漆喰壁の中塗の様子



主屋 移動後の電気メーター

主屋 壁の黒漆喰塗完了

各務原市の完成
検査の様子





蔵 トタン撤去後の南面壁



離れ 波トタン撤去後の
東面壁



蔵上部の漆喰塗下地壁



離れ 2階床の根太
補強



離れ 屋根瓦撤去の
様子



離れ 日本瓦葺（土葺き）撤去



離れ 日本瓦葺撤去の様子



離れ 日本瓦葺き下地



離れ 日本瓦葺きの様子



蔵と離れの接合部屋根



蔵・離れ 屋根瓦葺替え完了



蔵・離れ 完成前の様子



蔵・離れ 検査の様子

蔵・離れ 南面壁の漆喰塗壁
と目隠し格子



蔵・離れ 完成前の様子

□ 完成（改修後）写真

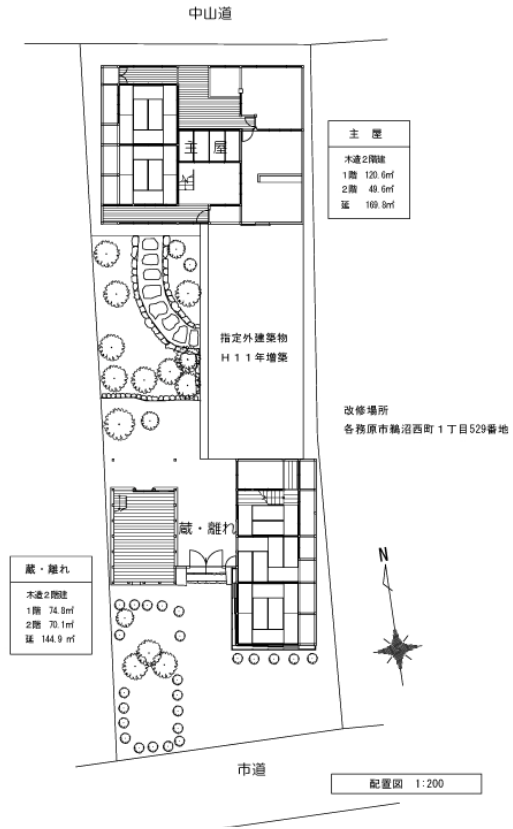


主屋 全景（道は旧中山道）

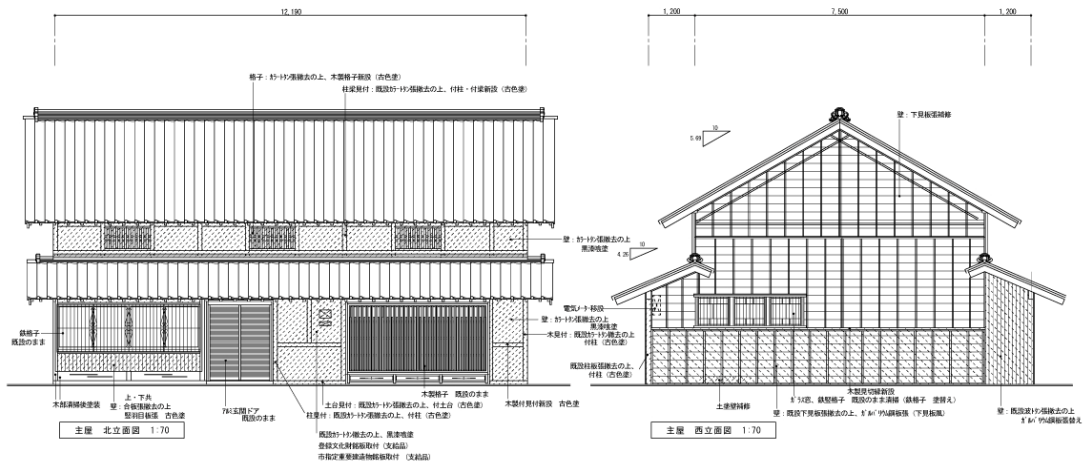


蔵・離れ 全景

□ 配置図・実施設計図書（抜粋）



配置図



改修主屋立面図

